

「省エネルギー学習会」

会議年月日	2019年2月1日	時間	13:30 ~ 15:30	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	平手、増永、難波、岩井、高橋、下田、小笠原、長門、遠藤、新田、春田(記)				

議 題

2月度の「省エネ学習会」を開催した。

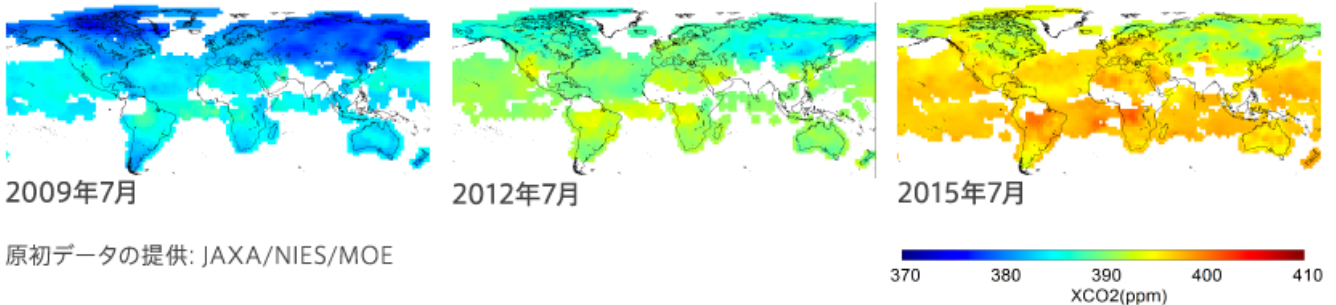
1, 温暖化効果ガス観測技術衛星(いぶき)について(2019-2-3「宇宙から見た地球の今」実行委員会)



(C) JAXA

産業革命以来、人間は石油や石炭などの化石燃料を燃やしてエネルギーを取り出し、経済を成長させてきました。その結果、大気中のCO₂濃度は、産業革命前に比べて40%も増加しました。温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)の観測でも、増加傾向が見られます。

GOSATによる世界のCO₂濃度分布観測結果



<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/ondanka/>

2, 地球温暖化について(国立環境研究所 広兼克憲氏)

石炭や石油を使うと、地球温暖化の原因のひとつであるCO₂(二酸化炭素)が出ます。出て来たCO₂の半分はそのまま空気にとどまり、残りの半分は“陸上の植物”と“海の水”に吸収されます。本当に海がCO₂を吸収するのか実験してみましょう。

国立環境研究所 地球環境研究センター

実験のやり方

BTB溶液 海水
海水とBTB溶液を入れた小ビンを用意する

CO₂(二酸化炭素)を含んでいる自分の息を小ビンに吹き込む

フタをしっかり閉めよく振り混ぜる

実験の結果

BTB溶液は、酸性・中性・アルカリ性を調べることができます。CO₂が水に溶けると酸性になります。海水はCO₂を吸収したでしょうか?

わかったこと

- 海水は余分に出したCO₂を吸ってくれる → 地球温暖化を遅くしてくれている
- 海水がCO₂を吸うと酸性に近づく(海の中には酸性化の影響を受けやすい生き物がいる)

* 詳細は2019-2-3「宇宙から見た地球の今」講演会で

以上